抽出

既存のテーブルからレコードまたはフィールドを抽出し、新規テーブルを作成する

◇機能

《抽出》は、1つのテーブルを元にして、新規のテーブルを作成する機能です。抽出条件を設定する(※)ことで、条件に合致するレコードのみのテーブルを作成したり、不要なフィールドを除外したテーブルを作成したりすることができます。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量	備考
2023/01/10	101	100	4	
2023/01/10	102	150	3	
2023/01/10	103	90	-5	返品
2023/01/10	102	150	10	

「数量」がマイナス以外のレコードを抽出したテーブル

売上日	商品No	単価	数量	備考
2023/01/10	101	100	4	
2023/01/10	102	150	3	
2023/01/10	102	150	10	

売上日	商品No	単価	数量
2023/01/10	101	100	4
2023/01/10	102	150	3
2023/01/10	103	90	-5
2023/01/10	102	150	10

「備考」フィールドを除いたテーブル

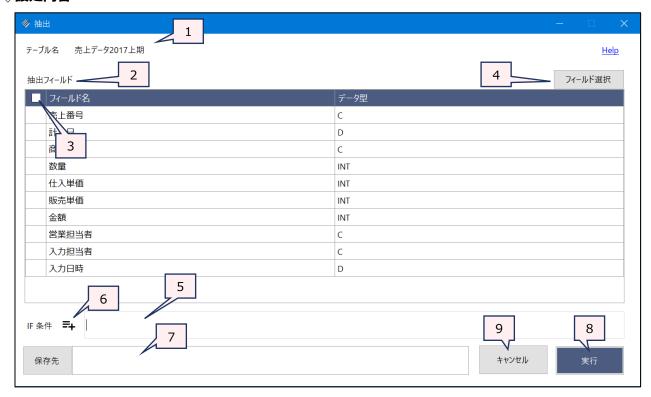
※抽出条件の設定は、《抽出》の「IF条件」(「◇設定内容」参照)に条件式を記述することで設定可能ですが、まずフィルターでレコードを抽出し、目的のレコードが抽出されることを確認してから、その状態で、《抽出》で新規テーブルを作成することをお勧めします。

フィルターについては、本機能説明書の「フィルター」、条件式の書き方は、「式」を参照してください。

◇メニュー

《加工》-《抽出》

◇設定内容



1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。

2. 抽出フィールド(必須) : フィールドの一覧で、新規テーブルに抽出するフィールドをクリックして選択します。

● フィールドは、複数選択できます。

● 選択した順に番号が表示され、番号順に新規テーブルのフィールドの並び順が 決まります。

3. フィールドの全選択/全解除

: チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。

4. 《フィールド選択》ボタン : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。

5. IF条件(任意): 抽出条件を設定する場合は、条件式を入力します。

6. 《式ビルダー》アイコン : IF条件の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。

7. 保存先(必須) : 新規テーブルの名前を入力します。

● テーブル名の長さは、64文字までです。

● ファイルの保存先は、プロジェクトフォルダの「04 table」フォルダです。

● 《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトフォルダの「04_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです。

8. 《実行》ボタン : 実行します。

9. 《キャンセル》ボタン : 実行せずに画面を閉じます。

◇操作ログ

EXTRACT FIELDS 抽出フィールド1 抽出フィールド2 · · · (または**ALLFIELDS**) <u>IF 条件式</u> **TO** サブフォル ダ名¥新規テーブル名 **OPEN**

※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。